

中村 文 十四世紀の多声ミサ曲 ―ミサ・サイクルについて―

広田 晶子 『朗詠九十首抄』の研究 ―流布本の成立とその歴史的意義―

安原雅之 ロシア・アヴァンギャルド音楽研究

塩田洋子 不確定性の音楽における方法論と思想 ―シュトゥツクハウゼンを中心に―

音楽教育修士論文題目一覧

【昭和四十五年度】

佐橋 晋 明治期唱歌教授理論成立についての一考察

【昭和四十六年度】

大畑祥子 幼児の旋律形成について

遠山文吉 重症脳性麻痺児及び精神薄弱児に対する音楽療法の試み

村尾忠廣 律唱歌の研究

【昭和四十七年度】

丸山妙子 兼常清佐研究

村瀬夏子 児童の音楽能力の測定

李 鎔一 韓国の学校における音楽教育の展望

【昭和四十八年度】

宮野モモ子 明治期の唱歌教育 ―当時の文献にみた唱歌指導内容および指導法に関する一考察―

早川和子 教材の現代化への一考察 ―Jazz Improvisationによる創造性の開発―

山田芳江 世阿彌の教育思想

【昭和五十年度】

小林幸男 小学校音楽科に民族音楽を導入する試み

沢田 博 日本の伝統音楽に基づいた器楽合奏教材について ―現代の音感を加えた合奏曲の創作―

本間貞史 音楽教育における現代音楽の扱いについて

辰巳満里子 声楽発声の実験的考察 ―音声生理学、音響学、聴覚心理学的立場から―

高見富美子 小浜島における音楽学習行動 ―民俗音楽文化の学習―

西村路子 音楽による治療教育についての一研究 ―精神病院における分裂病患者の事例研究―

米元えり ピアノ教授法における一考察

【昭和五十一年度】

吉永誠吾 音楽教員養成制度 ―カリキュラムおよび授業内容についての一考察―

【昭和五十二年度】

垣内幸夫 日本伝統音楽の教材化

竹井成美 中世の大学における音楽の研究と音楽教育 ―ポエティウスとその〈音楽論〉を中心として―

志村洋子 幼児の歌唱についての一考察 ―幼児の集団での歌唱指導の有効性についての試み―

マクガレル, L.M., W.・メーソンの音楽教育について ―明治初期の音楽教育の背景として―

ト部京子 ピアノ教育における基礎教育と音楽的能力の育成

―幼児のピアノソルフェージュ方法論への考察―

【昭和五十三年度】

今井民子 幼児の調性感に関する一考察 ―実験を中心として―

岡田久仁子 ヲグーイ・メソードの理念とその幼児教育への適用について

【昭和五十四年度】

橋 千枝子 日本歌曲と音楽教育 ―戦後から現在に至る中学・高校の日本歌曲教材の分析的研究―

【昭和五十五年度】

Andress, ConstanterB 民族音楽の教育的可能性についての哲学的研究

川手 誠 小学校におけるリズム指導の可能性への一試案

田中正子 幼児の歌唱についての一考察 ―声区を中心として―

新保ゆかり 音楽教育における音楽療法的な要素 ―聴取に関する一考察―

【昭和五十六年度】

坂田直子 近代アメリカのピアノメソードの研究 ―近代アメリカのピアノ教育の入門期のメソードの傾向と分析・考察―

桑原道子 入門期フルート教則本の比較研究 ―日本独自のフルート教則本の確立条件―

【昭和五十七年度】

伊藤 誠 幼児のためのヴァイオリン指導法の研究 ―「ヴァイオリン英才教育法」の分析と評価―

丸山太郎 小学校教員養成におけるピアノ指導の研究 ―教員養成のためのピアノ教則本試案に向けて―

【昭和五十八年度】

今村昌文 わが国の学校音楽教育における合唱教育体系確立への試み

河村 恵 音楽の学習過程の分析的研究 ―低学年児童の歌唱活動を中心に―

浜中康子 ピアノ教育におけるリズム感の育成 | 古典舞踏を用いて |

【昭和五十九年度】

大川満希子 幼児の歌唱指導法に関する一研究 | 年長児の指導を通して |

浜松敦子 近代日本における民衆の洋楽受容に関する一考察 | 音楽教育史研究としての試み |

佐野 靖 西ドイツの音楽教員養成制度に関する考察 | ノルトライン・ヴェストファーレン州を中心に |

【昭和六十年年度】

松嶋直美 ピアノ教育における技術指導について | 「御木本方式」の分析を通して |

磯田貴子 導入期のピアノ指導に関する一考察 | レディネスに着目した実践を通して |

佐藤邦子 自閉症児の音楽教育に関する研究 | ピアノ指導を通して |

【昭和六十一年度】

渡辺加津子 リズムの本質とその教育における一考察 | 打楽器アンサンブルを通して |

【昭和六十二年度】

岩田遵子 幼児の音声表現におけるパターンの意味 | 言語的表現と歌唱的表現 |

宮和田美保 音楽科教育の時間論的一考察 | 教科の独自性の探求として |

亀丸孝子 地域社会における音楽と学校 | 五木村における現地調査を通して |

博士論文題目および博士後期課程

リサイクル一覽

博音第一号、音楽学

蒲生美津子 (論文) 早歌の音楽的研究 昭和五七・三・二五

博音第二号、邦楽

安藤正照 (論文) 箏と十七弦における撥弦動作の時間的解析 (演奏) 「越天楽変奏曲」「落葉の踊」「残月」 昭和五七・三・二五

博士後期課程リサイクル

昭和五十二年 度 一月二十日 十六時 第六ホール

手事 第一章 手事 宮城道雄 作曲

第二章 組歌風

第三章 輪古

安藤正照

磯千鳥 (三弦) 菊岡檢校 (箏) 八重崎檢校 作曲